

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	林 昭雄	電 話	483-1151 内線：3220
-----	-------	-----	---------	------	------	-----	------------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3520		事務事業名称	し尿処理手数料過誤納還付金						短縮コード	経常		臨時	3520
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	14	諸費		
区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務			根拠法令等		八千代市財務規則								
☒ その他														
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
出納閉鎖期間終了間際での過誤納の発生														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして							
変化なし					大項目（節）	03	環境・衛生							
					中 項 目	04	し尿処理							
					小項目（施策）	01	処理体制の整備							
					細 項 目	01	衛生センターの適正な管理運営							
				実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	し尿汲取り利用者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成17年度に実際に行ったこと： し尿処理手数料の過誤納を行った者に対し過誤納金を還付した。							
	※平成18年度に計画していること： 平成16年と同じ							
意図 （何を狙っているのか）	過誤納金の還付							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	還付対象者への過誤納金の還付							
区 分				単位	16年度	17年度		18年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	過誤納還付に係る経費	千円	1	0		0	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	過誤納還付金	千円	1	0		0	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	過誤納還付件数	件	1	0		0	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3520	事務事業名称	し尿処理手数料過誤納還付金			所属名	クリーン推進課
			単位	1 6 年度	1 7 年度		1 8 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	1	0	1	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			過誤納者への還付		過誤納者への還付		
人件費 (B)			千円	1, 660. 4	0	2, 324. 9	0	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	1, 661. 4	0	2, 325. 9	0	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている		前年度に過誤納還付未済が発生した場合のみ行う事業のため					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☒ 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		前年度に過誤納還付未済が発生した場合のみ行う事業のため					
			☐ 達成していない							
			☒ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		前年度に過誤納還付未済が発生した場合のみ行う事業のため					
			☐ 可能性はない							
			☒ 評価対象外事項							
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい		前年度に過誤納還付未済が発生した場合のみ行う事業のため					
			☐ 見直す必要がある							
☒ 評価対象外事項										
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		前年度に過誤納還付未済が発生した場合のみ行う事業のため					
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☐ 両方可能性はある							
			☒ 可能性がない							
		⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
				☐ 臨時的任用職員等の活用						
				☐ I T 化等業務プロセスの見直し						
				☐ 受益者負担の見直し						
				☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
				☐ 上記以外の方法			2		実施主体 (所管部署)	
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
				☐ ない						

コード	3520	事務事業名称	し尿処理手数料過誤納還付金			所属名	クリーン推進課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			還付未済が発生した際に行う		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☒ 休止							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			還付未済が発生した際に行う
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特になし	

所属長コメント	事務事業評価の対象としては、不適当と思われる。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	還付が発生した際に、適正な処理を行うべき。 （現状の事務事業評価は、前年度において執行額がある事務事業について、どのような目的で執行されたお金であるか市民に説明する責任を負っている。）
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☒ 休止		
☐ 現状のまま継続		